

令和6年度 開成町部活動地域移行実施計画

1. 趣旨

スポーツ庁及び文化庁（以下「国」という。）が示す「休日の部活動の段階的な地域移行」に向けて、開成町においても、教員が担ってきた部活動指導業務のうち休日を基本とした活動に関し、地域クラブが教員に代わってそれらの業務を担い、負担軽減を図るとともに、中学生がスポーツ・文化に継続して親しむことができる機会を確保するための環境づくりを進めていくため、部活動（運動部）地域移行推進事業（以下「本事業」という。）を新たな取組として進める。

本事業は国が作成した「学校部活動及び地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき、改革推進期間である令和5年度～令和7年度の間順次、学校の部活動指導業務の見直しを図るとともに、生徒が生涯にわたってスポーツ活動に親しめる機会を確保するための環境の整備を行うもの。

本方針は、令和6年度実施していく事業についての方針を定めるもの。

2. 期間

令和6年4月1日～令和7年3月31日

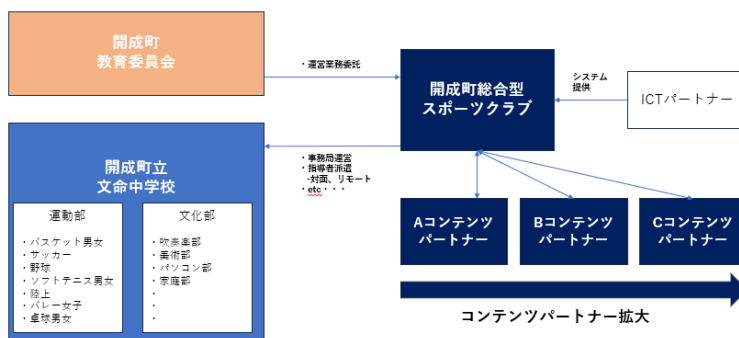
3. 方法

①事業スキーム

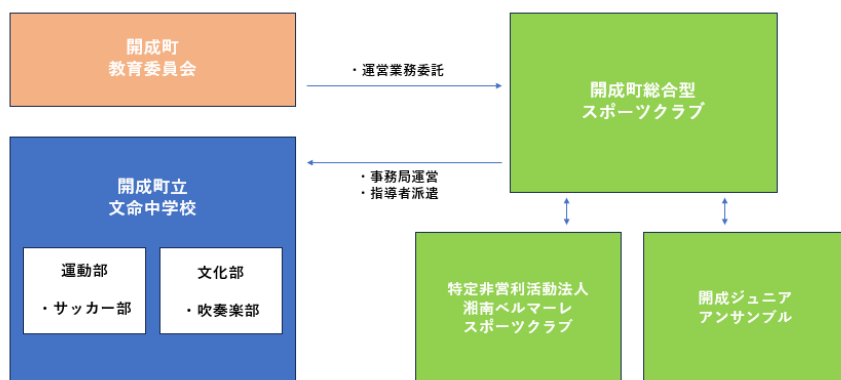
ア、事業スキーム

運営主体の核を開成町総合型スポーツクラブとして、委託形式で実施する。関係図は以下のとおり。

開成町部活動地域移行事業 事業実施体制



令和6年度 開成町部活動地域移行事業 事業実施体制



イ、関係者

・実施主体 開成町総合型スポーツクラブ（足柄上郡開成町吉田島 2710 番地） 代表 露木 重雄	
統括コーディネーター	中里 亮啓
コーディネーター	本多 大
現場管理責任者	佐々木 朋美
サッカー部 指導者	藤本 貢壽（湘南ベルマーレスポーツクラブ）
吹奏楽部 指導者	本澤 尚之（開成ジュニアアンサンブル）

4. 実施内容

令和6年度は、以下の2部活の地域移行化を実施する。

- (1) サッカー部 (2) 吹奏楽部

令和6年度の開成町総合型スポーツクラブの活動実施は、休日の活動のうち日本中学校体育連盟・吹奏楽連盟に関連する大会、練習試合、イベント等の運営や引率を除く学校で行われる通常練習を対象とする。ただし、令和7年度以降「部活動」としての出場要件がない大会やイベントについては、「クラブ」として対応できるよう運営や引率等の方法を確認していく。

①年次・月次計画の作成

- ・年次計画 学校により作成
- ・月次計画 スケジュールを以下のとおり学校・クラブで作成

クラブとしての実施日決定	前々月中旬～下旬
練習内容等の調整	前月上旬～中旬

②連絡方法

オンラインチャットツール「LINE WORKS」を活用し、開成町総合型スポーツクラブと保護者が連絡を取合う。主な連絡内容は以下のとおり。

No.	送信者	内容	
		サッカー部	吹奏楽部
1	開成町総合型スポーツクラブ	月次計画 ※前月下旬に送付	
2	保護者	欠席連絡	急遽の欠席連絡 ※基本的な出欠確認は⑤実施の詳細-イ、実施内容-出欠連絡（詳細）で行う。
3	開成町総合型スポーツクラブ	天候による中止等の連絡	

③休日⇒平日の実施報告

必要な事項を Google forms で共有、ただし出欠確認及び施設利用報告は報告様式を提出。

休日実施完了後、開成町総合型スポーツクラブが入力・記入し、翌営業日には教育委員会及び学校が確認できるようにする。

④施設管理

- ・実施当日は、「現場管理責任者」が部活動地域移行に必要となる施設の管理を行う。
- ・管理にあたり、学校入構に必要なセキュリティカード及び「⑤実施の詳細」に記載する教室等に立ち入るための鍵を用意する。
- ・鍵の管理は平日、教育委員会にて行い、実施当日「現場管理責任者」が町役場警備室より受け渡し、終了後返却する。

⑤実施の詳細

ア、現場管理責任者

7:30～12:30の間、部活動実施に係る関係施設の管理及び運営の対応を行う。

イ、実施内容

区分	サッカー部	吹奏楽部
講師	・ 指導者 藤本 貢壽 (湘南ベルマーレスポーツクラブ)	・ 指導者 本澤 尚之 (開成ジュニアアンサンブル)
経歴	・ NKKサッカー部選手として 第5回JSLカップ優勝 ・ 第61回天皇杯優勝 ・ NKKサッカー部コーチ ・ 2024年現在Jリーグ・WEリーグ マッチコミショナー	・ 米国バークリー音楽大学 ジャズコンポジション科卒業 ・ 開成ジュニアアンサンブル代表 ・ 開成町文化団体連絡協議会会長 ・ 開成町教育委員会委員
実施日・スケジュール	7:45 学校入り 8:00 部活動開始 11:00 終了撤収	8:15 学校入り 8:30 開始・ミーティング 11:30 終了撤収
出欠連絡 (詳細)	急遽の欠席連絡は「現場管理責任者」に保護者から連絡。	通常の出欠連絡は、パーটারダーに集約し、開始ミーティングの際取りまとめる。急遽の欠席連絡は「現場管理責任者」に保護者から連絡。
使用施設	グラウンド・プレハブ倉庫	音楽室・音楽準備室・多目的室・多目的室2・理科室1・理科室2・図書室

5. 兼職兼業について

開成町総合型スポーツクラブが実施する活動日に指導者として参加した場合、開成町立学校教職員服務規程(平成21年4月1日教育委員会訓令第2号)9条の規定により兼職兼業を実施する。

(神奈川県教育委員会教職員企画課：「中学校部活動の地域移行に係る県立学校教員等のサービスの取扱いについて」も参考とする。)

報酬に関しては、指導者 2,000 円/時間 管理者 1,600/時間とする。

6. 保護者への周知について

1月18日（木）	新1年（入学説明会） 新2年～3年（学校配布）に説明チラシを配布
2月27日（火）	サッカー部・吹奏楽部の生徒・保護者を対象に説明会を開催。
令和6年度（4月）	PTA総会にて参加者（保護者）全員に対し説明を予定。

※実施に向けては、事前に保護者から「承諾書」を提出してもらう。

7. 保険の加入について

民間の傷害保険に加入する。

クラブとしての活動になる場合、学校管理下の活動ではなくなり、「スポーツ振興センター災害共済給付金」の制度は活用できなくなるため、民間の保険（民間保険）にて補償を補完する。

8. 責任関係について

開成町総合型スポーツクラブが実施する活動の責任が及ぶ範囲については、活動実施中及び発信した情報にのみに及ぶものとする。

9. クラブとしての取組

・プログラミング教室の実施

令和5年度に行った児童生徒（小4～中2）及びその保護者のアンケートでパソコン（プログラミング）部の需要が高かったことや、部活動地域移行の先進地である渋谷区の渋谷ユナイテッドでは地域の企業と連携したプログラミング教室を開催し高い評価を得ている。

また、現在の学習指導要領にプログラミング教育が盛り込まれているようにこの時代を生きる子供たちにとって今後、必要不可欠な技術となり得る。

これを部活動地域移行推進事業で実施することで子供たちの機会提供や本事業自体の価値向上につなげる。

10. 国モデル事業への申請

- ①スポーツ庁「地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業」
 - ②文化庁「文化庁活動改革（部活動の地域移行に向けた実証事業等）」
- 上記2事業について神奈川県を通じ申請中。

※令和5年度については、文化庁「文化庁活動改革（部活動の地域移行

に向けた実証事業等)」の採択を受け実施。

1 1. 今後の検討課題

- ・ 令和7年度実施に向けての準備
 - ⇒令和7年度に実施する部活動の選定・実施計画（民間企業との連携）
 - ⇒開成町教育委員会、学校及び関係機関との調整
- ・ 予算の確保（ふるさと納税・補助金等）方法の検討
- ・ スポーツコンプライアンスの担保（指導者資格）の検討